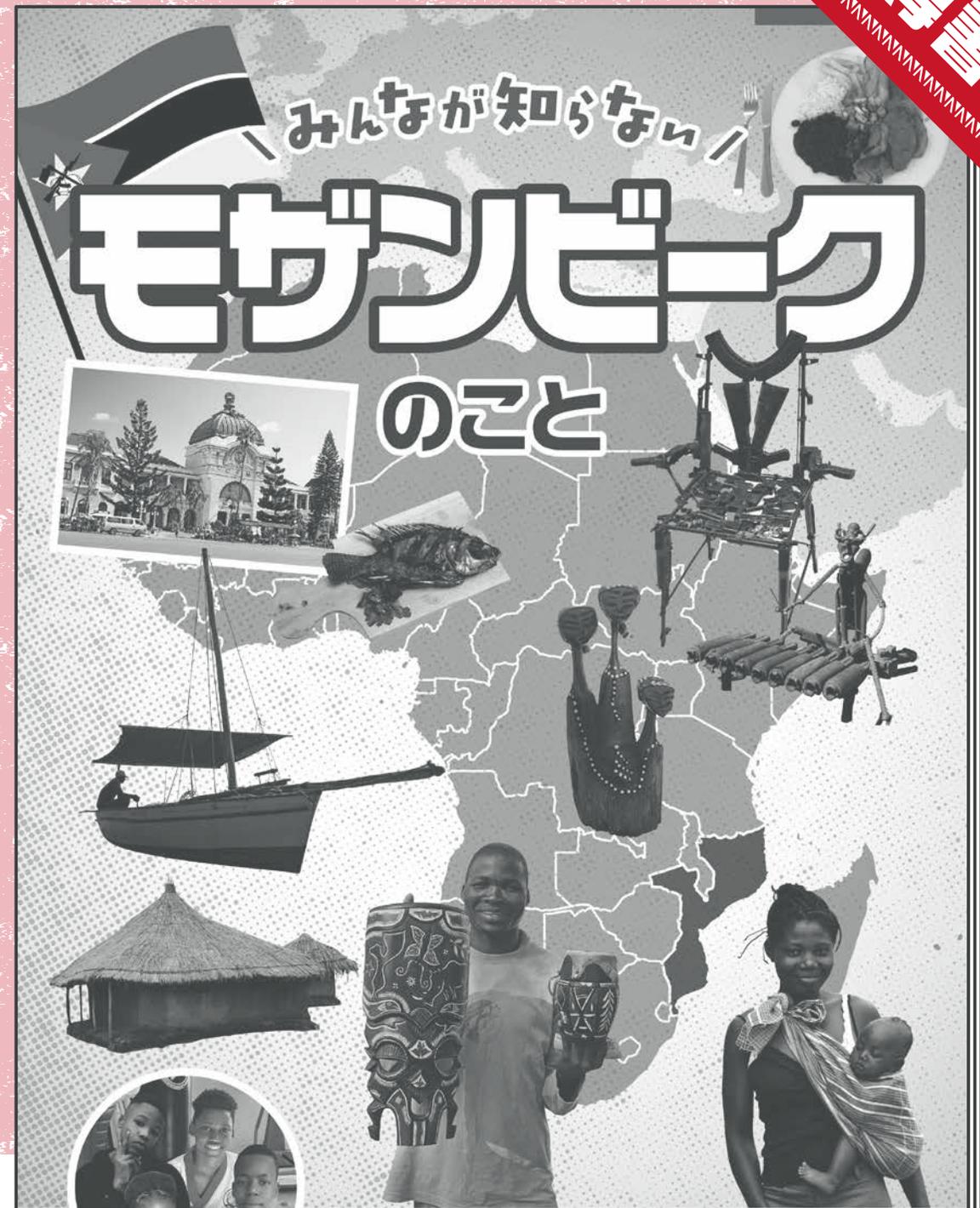


解説と指導のポイント付き!



現地の中学生に
聞いだよ!



主体的・対話的で
深く学べる
「アクティブ・
ラーニング」
教材

JICAは、日本の政府開発援助（ODA）を行う機関として、開発途上国への開発協力を実施しています。

みんなが知らない!
モザンビークのこと

ワークシート

1. 「モザンビーク」の冊子を読んで、興味をもったこと、疑問に思ったことは何でしょうか。
.....
.....
2. モザンビークがかかえている課題を解決するために、
どういう取り組みをしたらよいと思いますか。
あなたの考えを書きましょう。
.....
.....
3. 将来、モザンビークで仕事をするとしたら、あるいは、
モザンビークの人といっしょに仕事をするとしたら、
どんな仕事をしてみたいと思いますか。それはなぜでしょうか。
.....
.....

年 組 氏名 _____

紙教材裏表紙の
ワークシートを
授業の振り返りに
活用ください。



活用の手順

- 1 「モザンビーク」に対して知ったこと、興味をもったことを、まず、生徒同士で対話する時間をつくる。
- 2 各自がワークシートに自分の意見を記入。
※裏表紙に直接書き込むか、教師が前もって、人数分のコピーをとって配り、書き込んで回収してもよい。
- 3 記入したワークシートは、各自のポートフォリオに加える。

- ワークシートのねらい
- 感想を文章化する作業を通して、自分の興味・関心を認識し、今後の行動につなげる。
 - 国際社会に対する視野を広げる。
 - 国際協力の可能性と大切さに気づく。
 - キャリア教育の視点でアフリカとのつながりを考えることで、職業の選択肢を広げる。

2021年5月1日 初版発行
発行：独立行政法人 国際協力機構（JICA）
本書に関するお問い合わせ：JICAアフリカ部アフリカ第三課
〒102-8012
東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル
Tel：03-5226-8215（年末年始土日祝日を除く9:30～17:45）
E-mail：6rta3@jica.go.jp
URL：https://www.jica.go.jp/



監修：天笠茂（千葉大学 名誉教授）
網中昭世（日本貿易振興機構 アジア経済研究所 研究員）
落合雄彦（龍谷大学 法学部 教授）
編集制作：株式会社 ワン・パブリッシング
編集協力：株式会社WILL
イラスト：伊藤美樹
デザイン：chocolate.

国連SDGs HP(https://www.un.org/sustainabledevelopment/) The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.

※国旗は、国連と同じ3:2のサイズで掲載しています。

『みんなが知らない モザンビークのこと』



教材の構成と特徴

『みんなが知らないモザンビークのこと』は、モザンビーク共和国について知り、興味を抱くための中学生向け動画・紙教材です。アフリカ編動画・紙教材と組み合わせての使用で、「モザンビーク」に対するより深い理解や、生徒の視野の広がりが期待できます。それぞれの教材の構成や特徴は、以下の通りです。

A アフリカ編動画



ポイント

再生時間は約4分。「アフリカ」に対する生徒の興味を引き出すのに適した教材です。導入場面での使用が効果的です。

B アフリカ編紙教材

目次

- ・巨大な大陸アフリカ!
- ・けたちがいのダイバーシティ!
- ・世界がうらやむ資源の宝庫!
- ・注目のアスリートがひしめく!
- ・身近なモノでつながっている!
- ・人もこんなにつながっている!
- ・こんなふうに進んでいくよ!



ポイント

「アフリカ」の概要を学ぶための教材です。「アフリカ」がもつけたちがいの多様性から、課題解決の方向性まで、多角的に示しています。

C モザンビーク動画



ポイント

再生時間は約4分半。「モザンビーク」について「もっと知りたい」気持ちを引き出すのに適した教材です。導入場面での使用が効果的です。

D モザンビーク紙教材

目次

- ・ストーリー
- ・モザンビークってどんな国?
- ・モザンビークの中学生のこと
- ・南北に長い国土と人々の暮らし
- ・伝統を生かした自由なアート
- ・アフリカの国々を世界へとつなぐ玄関口!



ポイント

「モザンビーク」がもつポテンシャルや課題を解説。その課題にJICAがどう協力して、解決を模索しているかがわかります。

教材使用パターン

4種類の教材は関連性のある構成になっていますが、状況に応じて切り離して学習するなど、さまざまな使い方に対応します。

ショート (50分×1~2コマ)

Aは、できれば**C**の授業前に、学級活動などの空いた時間を利用して視聴するとよいでしょう。また**B**は、読む学習にも活用できる教材です。**C**の授業前に配布し、生徒が読んでおくことで**C**の授業の下地をつくることができます。



C モザンビーク動画

所要時間例：10~20分

モザンビークの基本情報を確認し、モザンビークがもつ課題やJICAの活動に対する興味を引き出します。

D モザンビーク紙教材

所要時間例：40~80分

モザンビークについての深い学びにつなげられます。ワークシートの活用や、グループ学習など、学校の状況に合わせて展開できます。

スタンダード (50分×2~3コマ)

A アフリカ編動画

所要時間例：10~20分

動画の視聴後に感想を言い合うなど、アフリカに対する興味を引き出す対話を促していきます。

Bは、読む学習にも活用できる教材です。**C**の授業前に配布しておくことで、生徒同士の情報共有につながります。



C モザンビーク動画

所要時間例：30~40分

モザンビークの基本情報を確認し、モザンビークがもつ課題やJICAの活動に対する興味を引き出します。

D モザンビーク紙教材

所要時間例：50~100分

モザンビークについての深い学びにつなげられます。ワークシートの活用や、グループ学習など、学校の状況に合わせて展開できます。

フル (50分×4~5コマ)

A アフリカ編動画

所要時間例：10~30分

動画の視聴後に感想を言い合うなど、アフリカに対する興味を引き出す対話を促していきます。

B アフリカ編紙教材

所要時間例：40~70分

対話しながら見開きごとのテーマで読むことができます。考察の発表、調べ学習、ポートフォリオなど、導入、展開、まとめに幅広く活用できます。

C モザンビーク動画

所要時間例：10~30分

モザンビークの基本情報を確認し、モザンビークがもつ課題やJICAの活動に対する興味を引き出します。

D モザンビーク紙教材

所要時間例：90~120分

モザンビークについての深い学びにつなげられます。ワークシートの活用や、グループ学習など、学校の状況に合わせて展開できます。

授業への取り入れ方例

APPROACHES TO TEACHING

年間指導計画にどう位置づけるか(例)

この教材は、「総合的な学習の時間」の国際理解教育での活用が想定されますが、内容の一部を道徳や各教科学習をはじめ、横断型の学習に位置づけても活用できます。また、教育活動全体を通じて行われるキャリア教育にも適しています。

教材には、生徒が「アフリカ」と「モザンビーク」について多面的に理解し、関心をもつとともに、日本との関

わり及び国際協力について理解するというねらいがあります。

生徒が興味をもちやすい話題を入り口として、SDGsやアフリカ諸国の課題にもふれる構成になっています。探究課題の設定や、課題解決に向けた主体的で対話を通じた協働的な学習などに生かしてください。

年間指導計画の記載例を、以下に示します。

国際理解教育(総合)	道徳	社会ほか(教科)
「モザンビーク」について学ぶことで、異文化の存在を認める寛容性を身につけられるようにする。学ぶにあたっては、適切な情報を収集したり選択したりできるメディア・リテラシーを身につけられるようにする。	「モザンビーク」について学び、さまざまな価値観をもつ人と尊重し合いながら生きるために視野を広げられるようにする。正解が1つではなく、自ら考え、多面的・多角的な見方ができるようにする。	「モザンビーク」についての多面的・多角的な考察を通して、国際社会で主体的に生きるための資質・能力の基礎を養えるようにする。個人の社会的な活動への参画が国の平和や繁栄につながることに気づくようにする。

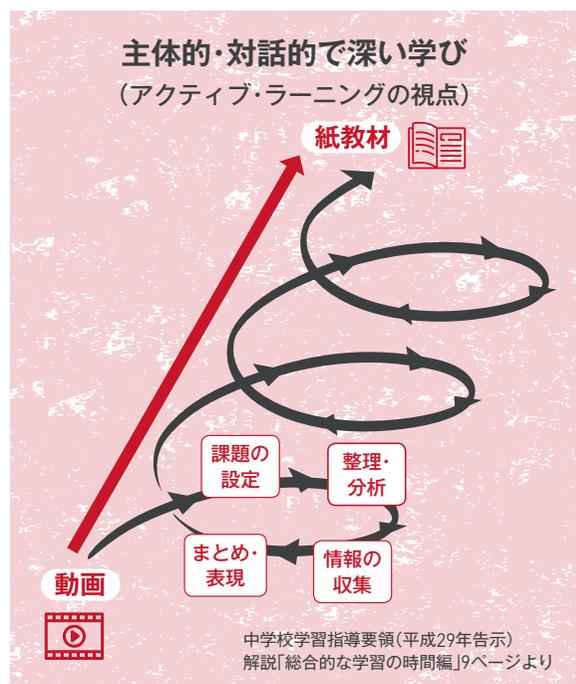
平成29年・30年改訂 学習指導要領との関連

何ができるようになるか

「アフリカ」特に「モザンビーク」の文化や歴史から課題を理解する「知識及び技能」、適切な情報を収集し考察した結果を人に伝える「思考力、判断力、表現力等」、学びを自分の生き方に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育むことができます。

どのように学ぶか

動画教材では、主体的に学ぶための興味・関心を引き出すことができます。紙教材では、考えたり話し合ったり調べたりする活動を通して、主体的・対話的に学ぶことができます。よりよい課題解決に向けた「深い学び」にも適しています。



「総合的な学習の時間」の国際理解教育

学習の成果を存分に発揮するゴール(まとめとなる活動)を、単元の授業時数に応じて設定しましょう。

生徒が「アフリカ」や「モザンビーク」を身近に感じ、自分のこれからの生活に関わるものの一つとしてとらえるようになる姿を想定するのがポイントです。

学年全体で

- * クラス、または学年全体で学習発表会を行う
- * 次年度入学してくる小学6年生に向けて伝えたい内容をまとめ、出前授業をする



教科横断的に

- * ワークシートをまとめ、ポートフォリオに加える
- * 調べ学習の成果を壁新聞にして、掲示する
- * 学習して得た情報や「モザンビーク」のイメージをもとに自由に作品をつくり展示する
- * 「モザンビーク」の課題から自分にできることを考え、それをポスターなどで表現する
- * 「モザンビーク」の魅力伝えるCM映像をつくるなど

各教科の授業でも

各教科の授業では、教材の一部を、学習事項と関連づけて活用することができます。下記は、活用方法のほんの一例です。

- * 国語科…紙教材のストーリーを読んだ感想を文章にまとめる
- * 社会科…紙教材の内容に関連する「モザンビーク」のニュースを、ネットなどから探して読んでみる
- * 数学科…相似や比などの図形の学習と関連づけて、「モザンビーク」の国旗を作図してみる
- * 理科…「モザンビーク」のような気候で育つ植物について気づいたことを言ってみる

- * 音楽科…この楽器は何でしょう？ この楽器の音はどれでしょう？ といったクイズをする
- * 美術科…「モザンビーク」の伝統的な衣装の色合いや模様の中に、造形的な美しさを感じ取る
- * 技術科…ICT(情報通信技術)について、日本の普及状況と比べて考える
- * 家庭科…「モザンビーク」の料理やレシピを調べる
- * 保健体育科…「モザンビーク」で人気のスポーツについて調べる
- * 英語科…「モザンビーク」の公用語や地域ごとに違う言葉を調べて、聞いたり話したりしてみる

たとえば数学で…

このページのグラフと日本のグラフを比べて…の計算をすると…

見開きごとの
テーマがあるので
各教科に取り入れ
やすい!



指導計画と授業展開の例

TEACHING PLANS AND EXAMPLES

このページでは、主に総合的な学習の時間の「国際理解教育」にこの教材を位置づけたときの単元のねらい、評価の観点、授業展開や評価の例を紹介しています。

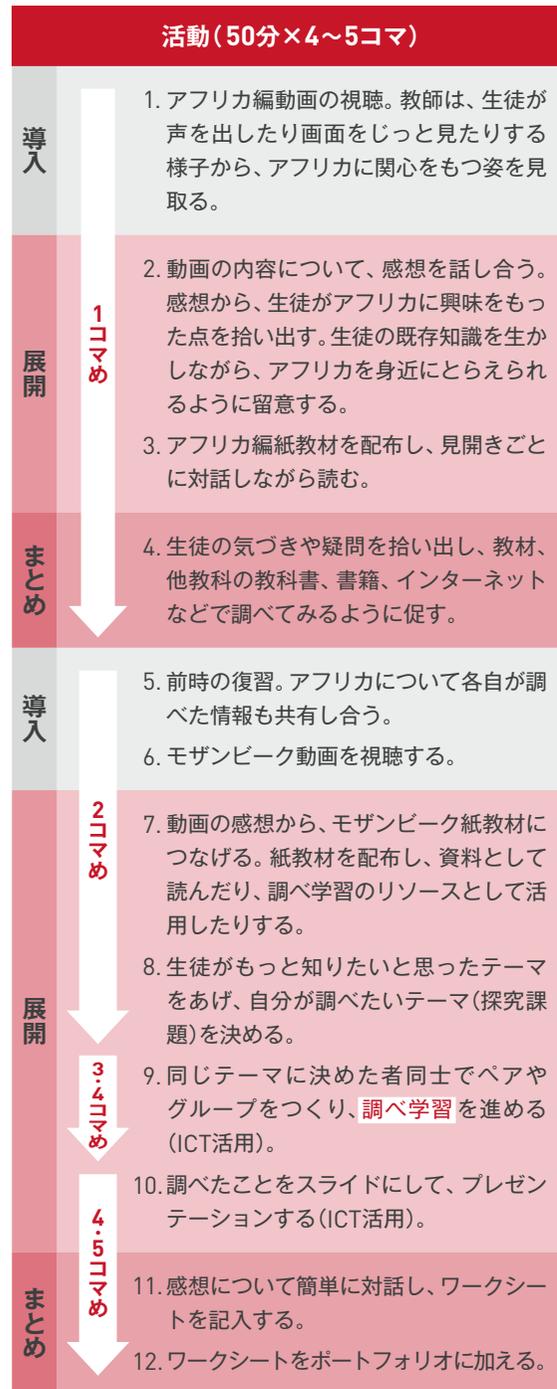
授業展開例 (フルバージョン)

ねらい

- 「モザンビーク」について理解を深める。
- 多様な文化を認める寛容な心を身につける機会とする。
- 国際協力を、自分の生活とのつながりの中でとらえ、これからの生活に生かそうとする態度を育てる。
- 「モザンビーク」のもつ課題に気づき、身近な問題に結びつける。
- 課題を解決するために必要な知識及び技能を身につける。

評価の観点

- 知識・技能**
- 教材を活用し、人々の暮らし、産業、地理、気候、歴史、文化などを通して「モザンビーク」を知る。
 - 地図帳や教科書など、各教科の資料や教材をリソースとして再活用する。
- 思考・判断・表現**
- 「モザンビーク」とのつながりを身近なものとしてとらえ、自ら学習テーマを設定する。
 - 学んだ内容を分析・再構築し、他者にわかりやすく説明したり作品として表現したりする。
- 学びに向かう力**
- ペアやグループでの協働学習を通して、友達と交流したり他者の考えにふれたりして、人との違いや多様性を楽しみながら学び合う。



ポイント①

社会科の地図帳などの生徒の持ち物や、学校図書館の本なども活用しましょう。

ポイント②

解説が必要な用語は、8ページ以降の「指導のポイント」に掲載があります。

ポイント③

ワークシートについて
紙教材の裏表紙に、授業のまとめで活用できるワークシートを用意しています。



学習活動と評価 (例)

この教材は ①知らない文化に興味をもって調べる活動、②異文化を認め合う寛容性を育む話し合い活動、③「モザンビーク」のもつ課題や国際協力について考察する活動など、さまざまな学習活動に対応します。それらの活動での生徒の姿を見取り、評価につなげられます。

ここに生徒の活動の姿の見取りと評価の例(所見)を紹介します。

興味をもって聞く



冊子を読んで「モザンビーク」に興味をもち、自らの感想を周囲に伝えることができました。

疑問を抱く



「モザンビーク」のもつ課題に関心や疑問を抱き、それを自らの学習テーマとして設定し、調べ学習にも主体的に取り組みました。

日本とのつながりや、自分とのつながりについて考える



資料から得た情報を日本と比べて考察し、「モザンビーク」のもつ課題を自分の身近な問題としてとらえることができました。



調べたテーマについて日本がどう関わっているかを考察し、結果をわかりやすくまとめてプレゼンテーションすることができました。

考えを話し合う



「モザンビーク」について調べた情報について、ペアの人とよく話し合いながらプレゼンテーションの内容を決めていくことができました。



「モザンビーク」のもつ課題に着目し、自分で調べた情報や友達が調べた情報を整理しながら話し合いを進めることができました。

発展的な学習活動

この教材では、「アフリカ」特に「モザンビーク」について知るなかで、その国のもつ課題とSDGsとを結びつけて、よりよい解決方法について考えていくことが、一つの発展的な学習活動として考えられます。

また、JICAなどの国際協力機関の存在に気づき、どのような活動をしているのかを調べたりして、自分はどのような社会的活動ができるかなど、生徒が主体的に進路を選択していくためのキャリア教育にもつなげられます。

「モザンビーク」のもつ課題をSDGsと関連づけて考察し、よりよい解決方法について話し合うことができました。

国際協力機関がどのような活動をしているかを調べ、自分が将来、どのような活動に参画できるかについて考えることができました。

[所見例]





「モザンビーク紙教材」の指導のポイント

COMMENTARY AND TEACHING POINTS

モザンビークは古くから貿易の中継地として栄え、さまざまな文化が交錯する国です。「航路の交差点」ともいえるその特色を、日本とのつながりにもクローズアップしながら紹介します。

2~5 ページ

導入・発問例

- ①この写真を見て気づいたことは？ 身近なところだと、どこに似ている？
- ②日本の海岸線の長さはどのくらいか、調べて比べてみよう。
……**社会科**
- ③国旗に銃が描かれていることについて、どう思う？ 考えを話し合おう。(平和という観点から)
……**道徳科**
- ④黒人の侍がいたって、聞いたことはある？

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

1 日本との不思議な縁を結んだ海のシルクロード

2 2700kmもの長い海岸線をもつモザンビーク。古くからアラブやヨーロッパ、アジアとの交差点として栄え、さまざまな文化が国のかたちをつくってきました。日本の戦国時代に黒人貿易の拠点となった黒人の侍(弥助)も、モザンビークの出身だったといわれています。

3 モザンビーク共和国

4 ヨーロッパとアジアを結ぶ航路が「ドラマ」を生んだ

5 アフリカ東海岸に位置するモザンビークには、すでに旧石器からアラブ人が訪れ、金や象牙などの交易が始まりました。その後、現在のシムバツエあたりにあったといわれているモノモタ(王国)の金と、インドやペルシア、中国などの品々を交換するインド洋貿易の中心地として栄えました。15世紀になると、ヴァスコ・ダ・ガマが来るまで、アラブ商人やペルシア人の船が頻りに、ヨーロッパとの交易も盛んに行われるようになり

6 さらに16世紀に入ると、ポルトガル人の入植が始まり、モザンビークはインド洋貿易の最前線の一つに、世界各地を回る商人やキリスト教の宣教師たちも、船乗りや貿易者として集って来るようになりました。そんな最前線の一人が、戦国時代の日本へやって来た「弥助」です。およそ450年前に、アフリカ人が日本で武士になるという、想像をはるかに超えるドラマを生み出したのです。毎年経て20周年に当たる、モザンビークでは歴史遺産として保存されている弥助の墓に、1975年に始まる、1975年には急激な独立を遂げました。

7 1977年から再び内戦に突入、1992年の内戦終結までは、100万人以上の人が難民や避難民として亡くなりました。その後も内戦が続き、1992年の内戦終結までは、100万人以上の人が難民や避難民として亡くなりました。その後も内戦が続き、1992年の内戦終結までは、100万人以上の人が難民や避難民として亡くなりました。

5 貿易風が運んだ日本とモザンビークの人々

6 貿易風が運んだ日本とモザンビークの人々

7 貿易風が運んだ日本とモザンビークの人々

8 貿易風が運んだ日本とモザンビークの人々

9 貿易風が運んだ日本とモザンビークの人々

導入・発問例

- ⑤この写真の中には、どこの国の料理がある？
……**家庭科**
- ⑥モザンビークの農村では自給自足や物々交換が行われているけれど、日本ではどうかな？
……**道徳科**
- ⑦貿易風ってどんなもの？ 赤道付近の気候について調べてみよう。
- ⑧弥助を題材にした作品にはどんなものがあるか、調べてみよう。

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

指導のポイント

モザンビークは、ヨーロッパとアジアを結ぶ航路の中継地として発展した歴史をもつ国で、さまざまな文化がまじり合った、開放的な雰囲気が魅力です。インド洋に面した沿岸部に位置することから、アフリカ大陸の海の玄関口としての役割を果たしていることに着目させます。

文化や人種がまじり合っていること具体例として、食べ物や建築物について掘り下げてもよいでしょう。また、弥助や天正遣欧使節の話によって、古くから日本とつながりがあることを示し、生徒がモザンビークに対する興味や親近感を深められるように導きます。

モザンビーク重要年表

1498年	ヴァスコ・ダ・ガマがモザンビーク島に到達以降、ポルトガル人の入植が始まる	1975年 6月	モザンビーク人民共和国として独立。マシエル初代大統領就任
1752年	ポルトガルによりモザンビーク総督府設置	1977年	モザンビーク民族抵抗運動(RENAMO)の攻撃により内戦に突入
1898年	モザンビーク島からロウレンソ・マルケス(現マプト)へ遷都	1986年	マシエル大統領死去、シサノ大統領就任
1962年	モザンビーク解放戦線(FRELIMO)結成	1990年 12月	新憲法制定。国名をモザンビーク共和国に変更
1964年 9月	FRELIMOがポルトガル植民地支配に対するゲリラ活動を開始(=独立戦争の開始)	1992年 10月	モザンビーク包括和平協定調印。16年にわたる内戦が終結
1974年 4月	カーネーション革命でポルトガルが民主化	1994年 10月	総選挙実施、シサノ大統領当選

「アクティブ・ラーニング」のポイント

モザンビークが貿易の中継地となった経緯などについて、主体的に調べたり、調べたことをもとに対話したり、それらの情報を整理してまとめたりする学習につなげるためのキーワード、検索ワードを紹介します。

調べ学習に使える! / 検索ワード

- モザンビーク インド洋貿易
- モザンビーク ポルトガル 植民地
- モザンビーク マプト 貿易

*モザンビークについて調べ学習を進める際は、内戦や北部の戦闘などに関連して、中学生にはインパクトが強すぎる画像などが目に入る場合があります。注意してください。

用語解説

①「コロニアル様式」
ヨーロッパ各国の旧植民地に見られる欧風の建築様式で、大きな窓やベランダ、建物正面のポーチなどが特徴。

*お役立ちサイト

- モザンビーク共和国基礎データ(外務省)
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/mozambique/data.html>
- モザンビーク共和国大使館 モザンビーク基礎データ
<http://www.embamoc.jp/about/index.html>



発問例

- 穀物の粉を練ってつくる料理はいろいろあるよ。知っているものはある？
……家庭科
- カブラナを使った雑貨を日本で売らるなら、どんなものが売れそう？
……キャリア教育
- マプトと東京の気候を比べて気づいたことは？
……社会科
- サイクロンの被害として、具体的にどんなことが考えられる？ 対策としてできることは？（日本の台風被害を参考に）

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

用語解説

*1-「カブラナ」

カブラナ(capulana)はアフリカの伝統的な布だが、布そのものはモザンビークではつくられていない。タンザニア、インドネシア、中国などに発注して仕入れている。

*2-「サイクロン」

サイクロン(cyclone)は、インド洋や南太平洋で発生する強い熱帯低気圧のこと。性質としては、北西太平洋で発生する台風や、大西洋および北東太平洋で発生するハリケーンと同じ。

モザンビークってどんな国？

1 魚料理が多いですが、肉料理も食べます

2 カブラナと呼ばれる布を使った雑貨など

3 年間平均気温と降水量(マプト)

4 近年、災害が多いこと

5 チュバについてゲームをやることが多い

6 日本にもチュバみたいなボードゲームってあるかな？

7 テコンドーってどんなスポーツかな？

8 英語以外に学びたい外国語は何？なぜその言語を学びたい？

指導のポイント

モザンビークは、インド洋を通じてアラブ人やペルシャ人が到来したり、長期にわたってポルトガルの植民地支配を経験したりしました。こうしたこともあって、内なる文化と外来の文化がまじり合い、新しいものが生み出されています。食べ物やファッション、音楽などにもその傾向を見ることができます。

近年、サイクロンなどの自然災害が多発している点については、地球全体の環境問題という視点からも考察するよう促しましょう。

アクティブ・ラーニング!のポイント

生徒一人一人が探究課題(学習テーマ)を絞ったあとは、グループ学習もよいでしょう。発表資料をPCやタブレットで作成するなど、ICT(情報通信技術)の活用にもつなげていきましょう。

文章や写真に加え、音声や動画なども用いると、より表現力のある発表が生まれるでしょう。

調べ学習に使える! /

検索ワード

- モザンビーク料理 シマ
- モザンビーク カブラナ
- モザンビーク 気候

モザンビークの中学生のこと

1 学校制度

2 学校生活

3 学校生活

4 学校生活

5 学校生活

6 学校生活

7 学校生活

8 学校生活

指導のポイント

モザンビークは地域による経済格差が大きく、農村部では、中等学校のない村も多くあります。

小学校の就学率は116%ですが、それは留年や入学の遅れなど、定められた就学年齢でない子どもが含まれる粗就学率(総就学率)だからです。中等学校への進学率は38%で、決して高いとはいえません。

また、気候変動によってサイクロンが多発し、強風や激しい雷雨で学校が破壊されるなどの被害も出ています。2019年には死者600人以上を出したサイクロン・イダイがモザンビーク中部を襲いました。そのとき、ユニセフや日本政府からの資金協力で勉強を続けられた子どもたちがいたことも、説明するとよいでしょう。

教育制度の概要

- 学校制度 7・3・2・4年制 2023年からは6・3・3・4年制
- 義務教育期間 6~13歳(1~7学年)
- 学期制 3学期制 1学期:2~5月/2学期:5~8月/3学期:8~1月
- 教育概要・特色
 - ・義務教育は6歳から13歳までの7年間(初等教育)で、授業料は無料。ただし、学校や教師の不足といった制度の未整備により、就学できない子どももいる
 - ・小学校修了後は、年齢の低い者から優先的に中等学校(日本の中学校・高等学校に相当)に進学できる
 - ・大学に進学する場合は、各学校の入学試験を受ける必要がある。教育内容や授業料は学校によって大きく異なる
- 粗就学率(総就学率)
 - 小学校:116%(2019年) 中等学校(前期):38%(2017年)
 - 中等学校(後期):31%(2017年)
 - (UNESCO"National Monitoring"より)



*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

発問例

- ①日本も南北に長い国だね。モザンビークとどちらがより長いかな？
……社会科
- ②写真の都市部と農村部、行ってみたいのはどっち？住むならどっち？(理由もあわせて)
- ③みんなは電子マネーを使ったことがある？どんなところが便利？
……社会科
- ④安全な水が手に入らないと、どんなことが起こるかな？
……家庭科

*発問を取り入れやすい教材の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

アクティブ・ラーニング!のポイント

たとえば「SDGsの視点から、農村の暮らしにはどのような課題があるか考える」「武器アートを紹介するキャッチコピーづくり」などの学習テーマが考えられます。学習を通じて生徒が身のまわりの事象についてとらえ直したり、視野を広げて考えたりする姿を見取りましょう。

調べ学習に使える!

検索ワード

- モザンビーク 武器アート
- モザンビーク Neyma
- モザンビーク 電子マネー
- モザンビーク 栄養不良 改善

(くわしくは15ページ)

1 南北に長い国土と人々の暮らし

人口の多くは、北部や内陸部の農村で自給自足の生活

モザンビークは南北に長い国です。南部の首都マプトや、島の都市といわれるペイラなど、沿岸部の港町を中心に経済が発展しています。

一方、北部や内陸部は農村地帯です。全人口の8〜9割が住んでいて、多くの人が自分で食へるための小規模な農業を行っています。少し多めに作った作物を市場で売り、野菜や卵を手に入れるのが一般的で、このように沿岸部・北部、また都市部、農村部で経済的な格差があります。

2

北部には鉱物資源が多いが、過激派による戦闘も……

北部では、天然ガス、石炭、ルビー、リチウムイオン電池の原料となる天然黒鉛といった鉱物資源が豊富です。これらの資源の開発には、外国企業も多く参入しています。***2** 天然ガスは、天然ガスの生産を目的として開採されています。しかしこの地域では、2017年ごろからイスラム過激派(イスラム)による戦闘がひんぱんに起こるという状況もかかえています。およそ50万人以上の住民が避難を余儀なくされている状況が続いています。

3

農村部でも意外にデジタル化が進んでいる!

農村部と都市部では、住居の形が違います。農村部には、かやの家の家や土壁の家などに住んでいる人もまだたくさんいます。一方で、「ICT(情報通信技術)」を取り入れた生活も見られます。電気が通っていない農村部では、充電の電力は、ソーラーパネルなどで発電しています。電子マネーの活用も、日本より進んでいます。最新の配給も、定期的にやってくる現金よりも楽な生活です。

4

JICAの協力

栄養でみんなをつなぐプログラム

北部の農村部・マプトで、JICAは、水・衛生・食料・保健分野、農業分野で活動して、栄養不良改善に取り組んでいます。

月や週ごとの講習により、安全な水が利用できるようになりました。衛生環境の改善も進んでいます。また、栄養士の高い、売れる野菜も栽培し販売することで、農家の収入向上と栄養改善が期待されています。

3 開放的で多彩! 伝統を生かした自由なアート

長い内戦の経験から、平和を語るアート作品が誕生

モザンビークでは、ポルトガルからの独立後、16年間の内戦が続きました。1992年に締結されたもの、用いられた武器が残り、武器の使用による遺棄はやみませんでした。そこで、NPO法人及びのグローバルネットワークは、武器と交換するための生活必需品を提供するなどの、このプロジェクトへの支援を続けています。

5

武器と交換する「武器をくわに」プロジェクトが開始。回収された武器の95%は破壊処理され、残りの5%は地域のアーティストの手により、平和を語るアートへと生まれ変わります。高木先生が生まれた場所、モザンビークの伝統的な武器をモチーフにした作品は、日本でも展示されました。日本のNPO法人及びのグローバルネットワークは、武器と交換するための生活必需品を提供するなどの、このプロジェクトへの支援を続けています。

6

民族ごとに、それぞれの文化に根ざした伝統舞踊も

開放的で多彩なモザンビークの人々にとって、ダンスは欠かせません。モザンビーク西部のマコバ人は、「マピコ」という伝統舞踊で有名です。伝統のダンスに合わせて、楽器をつけて踊ります。生活に密着する中でダンスをします。

モザンビークでは、独立後、政府が国立音楽院を設立し、それぞれの民族の伝統舞踊を保護することにも、モザンビーク独特の文化を生み出すことに取り組んでいます。

7

ユネスコ無形文化遺産に登録されている「ティンビラ」

南部のチョビに伝わる「ティンビラ」は、2005年にユネスコ無形文化遺産に登録されています。ティンビラは、音楽とダンスが融合した伝統舞踊。5〜10人のティンビラ奏者の音楽に合わせて、歌ったり踊ったりする総合芸術。しかし、演奏者の高齢化や、楽器の材料となる木材の不足などの課題もかかえており、日本はユネスコを通じてその保存を支援しています。

8

古くて新しい!? 伝統音楽をルーツにもつ音楽

モザンビークには、伝統音楽をルーツとしながら、外国の現代的なリズムや楽器を用いてモダンな形で発展する、独特の音楽文化があります。最も人気があるのは「マラベンタ」というダンスミュージック。伝統音楽に、ポルトガルの最盛期と現在のポップスがミックスされて生まれた音楽ジャンルです。歌詞には、独立までの物語や社会的なメッセージなどが盛り込まれることも多いといわれます。

発問例

- ⑤「えひめグローバルネットワーク」の活動について調べてみよう。
- ⑥「マピコ」や「ティンビラ」の動画を鑑賞しよう。
……音楽科
- ⑦「マラベンタ」の音楽に合わせて踊ってみよう。
……保健体育科

*発問を取り入れやすい教材の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

指導のポイント

モザンビークの海岸沿い、南からマプト、ペイラ、ナカラの港周辺は発展しており、都市部にあたります。一方、北部や内陸部の農村では、自給自足的な暮らしが営まれています。ナカラ回廊の開発は農村部の暮らしを豊かにしようとして行われていますが、開発に伴う複数の課題に目を向け、経済発展だけが豊かさを生むのではない点を押さえる必要があります。

農村部でのICT活用については、インターネットで簡単に情報を得られます。生徒がICT教育の可能性に気づくきっかけにしましょう。

モザンビークの課題について

栄養不良の改善

モザンビークは乳幼児死亡率が高く、その一因は栄養不良です。飢餓状態にはないものの、栄養や保健に関する知識の不足、衛生環境の不備による疾病で食料から栄養を十分に吸収できないことなど、多面的な問題をかかえています。

指導のポイント

武器アートについて

武器アートを生んだ「『銃をくわに』プロジェクト」の特徴は、市民団体が主体的に実施している点です。日本のNPO法人が支援を行っていることもあわせて、草の根の市民活動が平和を導く可能性を生徒が感じ取れるようにします。

「えひめグローバルネットワーク」では、武器アートの展示貸し出しも行っています。

伝統芸能について

モザンビークには複数の民族が存在し、それぞれに独自の伝統的な舞踊や音楽があります。「マピコ」と「ティンビラ」は、その代表的な伝統芸能です。「Mapiko Mozambique」「Timbila Mozambique」で検索し、実際に動画で鑑賞してみましょう。

新しい芸能のジャンルとして、民族舞踊や民族音楽を用いた「バイラード」という舞踊劇もあります。

マラベンタについて

マラベンタは、さまざまな文化がまじり合うモザンビークを象徴するような音楽ジャンルです。マラベンタスタイルの代表的な歌手・ネイマの楽曲は、「Neyma Mozambique」で動画を検索すると、ミュージックビデオを視聴することができます。ポルトガル語の歌に英語の字幕がついているものもあるので、歌詞の意味を調べてみるのもよいでしょう。

用語解説

*1 「キャッサバ」

南米原産の芋の一種。栽培が容易で、気候や土壌の条件が厳しくても生産できる。根茎からとったでんぷんはタピオカの原料にもなる。

*2 「天然黒鉛」

黒鉛はグラファイト、石墨とも呼ばれる鉱物。リチウムイオン電池を用いる電気自動車やモバイル機器の普及に伴い、需要が増している。

14～15ページ

発問例

- ① 地図帳を開いて、アフリカ大陸には、海をもたない国がいくつあるか数えてみよう。
……**社会科**
- ② サイクロンと台風、ハリケーンの違いは何か、知っている？ 発生のしくみを調べよう。
……**理科**
- ③ 世界遺産ってどんなものかな？ 知っている世界遺産はある？
- ④ 漁業を経済発展につなげるアイデアを考えてみよう。

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

アクティブラーニング!のポイント

たとえば「モザンビークが海に面した立地を生かして経済発展を遂げるためには、どんな課題があるか」という大テーマから、グループごとの小テーマを設定して調べ学習を進めると、学級や学年全体で対話的な学習活動ができます。

調べ学習に使える!

検索ワード

- モザンビーク 回廊 港
- モザンビーク サイクロン
- モザンビーク 海産物
- モザンビーク 海洋保護区



指導のポイント

モザンビークの地理的なアドバンテージを生かし、経済を発展させる方法について考えを深めます。経済的な豊かさのみを求めるのではなく、環境に配慮したり、昔ながらの暮らしのよさに目を向けたりして、持続可能な経済発展のあり方を模索するよう促します。

モザンビークの課題について

経済開発

モザンビークは首都マプトを中心に発展してきましたが、全体的に農村部では内戦の影響で開発が遅れていました。経済格差が拡大するなかで、貧困層の若者がイスラーム急進(過激)派に取り込まれ、2017年ごろから戦闘を繰り返しています。

漁業への支援

モザンビークは漁業が盛んですが、魚を新鮮なまま輸送したり販売したりする設備は十分とはいえません。海の豊かさを守るSDGsの視点にもつながる課題です。

(くわしくは15ページ)

モザンビークの課題とそれに対するJICAの協力

*下線部(~~~~)は、SDGsの169のターゲットからの記載です。(SDGs CLUB/UNICEF参照。https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/)

課題・栄養不良の改善

JICAの協力活動

【紙教材11ページ】
栄養でみんなをつなぐプログラム



モザンビークで妊産婦死亡率や5歳未満児死亡率が高い背景の一つに、慢性的栄養不良が考えられます。SDGs6「安全な水を飲めるようにして」、SDGs2「あらゆる形態の栄養不良を解消する」ことが、SDGs3「人々の健康につながり」、SDGs1「貧困をなくす」手がかりにもなります。JICAは、農家へ栄養価の高い野菜の栽培を広めるとともに、母子健康手帳を活用した妊婦や乳幼児をもつ親への栄養指導、安全で安定した給水施設の整備や手洗いの奨励に取り組んでおり、農業、保健、水・衛生など、さまざまな側面から問題を洗い出しながら、栄養改善に協力しています。

JICAとは

JICA(独立行政法人 国際協力機構)は、日本の政府開発援助(ODA)を一元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。くわしくは、アフリカ編教材の指導書やJICAの公式サイトでも確認できます。(https://www.jica.go.jp/index.html)

モザンビークにおいては、「潜在力を活かした持続可能な経済成長の推進と貧困削減」を目標に、地域経済活性化、人間開発、防災・気候変動対策を重点分野として、協力活動を行っています。上記は、その一例です。

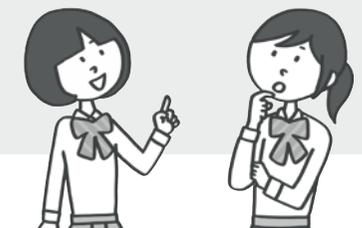
課題・経済開発・漁業への支援

JICAの協力活動

【紙教材14ページ】
港の改修工事で経済活性化
【紙教材15ページ】
魚市場建設で漁業を応援!



モザンビーク北部からマラウイ、ザンビアに至るナカラ回廊地域は、内戦などの影響で開発が遅れてきた地域です。SDGs9「持続可能な産業化を促進して」、SDGs14「魚のとりすぎ、破壊的な漁業をなくす」ために、JICAでは、港湾から内陸国へと続くインフラの整備などに協力しています。また、とった魚を衛生的に保管し販売するために、公設魚市場の建設にも協力しました。



国際協力について知る!

検索ワード

- 国際協力 日本 JICA
- 国際協力 国連 SDGs
- JICA 各国における取り組み モザンビーク